神戸新聞 2016年01月29日 金曜日 面名 東播 １４ 27ページ

赤米「おいしい」 播磨町・蓮池小

4年生が育て全校で試食

播磨町西野添の蓮池小学校でこのほど、4年生が植えて収穫した赤米の試食があり、1～6年生の約760人が給食で、赤く染まったご飯をおいしそうにほおばった。

同校近くの大中遺跡（同町大中）や歴史への興味を深めようと、4年生が2010年度から県立考古博物館（同）の実験水田で、古代に栽培されていた赤米の田植えと稲刈りに取り組んでいる。12年度から試食も続けている。

本年度は約110人が昨年6月に田んぼに入り、苗を植えた。10月の稲刈りでは、一部の児童が石包丁で稲を刈り取り、古代人の収穫を体験した。

給食では赤米約22㌔が白米と混ぜて提供され、おかわりする児童も。樽本隼之介君（4年）は「いつものご飯より味は薄かったけど、おいしかった。田植えと稲刈りは楽しかったが、昔の人は苦労していたんだと思った」と話していた。（伊丹昭史）

赤米を試食する児童たち＝播磨町西野添

(C)神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。

名前【　　】

① 蓮池小学校の4年生が赤米の田植えや稲刈りに取り組んでいるのは、なぜですか？その理由がわかるところに線を引きましょう。

② 4年生は、何を使って稲を刈り取ったのですか？

（　　）

③ この記事を読んだ感想を書きましょう。

NIEワークシート／小学校／社会、総合、朝NIE